

こんにちは

-No.39-

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



新しい日本をつくる！

## 日本共産党5つの提案

①効率優先で自己責任押し付けの新自由主義から転換し、格差をただし、暮らし・家計応援第一の政治をつくる

②憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する

③アメリカにも中国にもキッパリものを言う、自主・自立の平和外交に転換する

④地球環境破壊を止める

⑤ジェンダー平等社会の実現。多様性・個人の尊厳を尊重

世界的規模の感染症により、命の尊さ・命を守ることが最優先課題として世界共通のものとなりました。この危機を乗り越えるためには、自分の国だけではなく、世界中での取組が必要です。

格差をなくし、誰もが楽しく生きていける社会をつくるのが、私たちの願いです。

皆さんの声で  
実現させま  
しょう。



## 活動報告・今後の日程

### 1月10日 市議会報告宣伝

5人の共産党市議団で、市内の駅を回りました。今後も議会毎に行います。



### 1月11日 東村山を変える超党派議員連盟による議会報告会

コロナの感染拡大の影響により、オンライン報告会としました。チャットで質問や意見も寄せられました。今後はこうした集会の開催が増えていくこととなりそうです。

### 3月市議会日程

- 2月24日 初日
- 26日 代表質問（浅見）
- 3月1日 一般質問（さとう・渡辺・山田）
- 2日 一般質問（山口）
- 3日 一般質問
- 5日～11日 常任委員会
- 15日～18日 予算委員会
- 25日 最終日

★2021年度予算が審議されます。限られた財源です。コロナ禍の市民生活を支える予算編成となっているかが問われます。

※傍聴は別室。  
インターネット中継あり。



## 町田市の中学校全員給食実現へ！

### 市民の声が動かした！

東村山市と同様に選択制の町田市の中学校給食。2018年には2万3千筆を超える署名を集める程の、温かい全員給食をめざす市民運動が広がりました。

コロナで生徒の在校時間にばらつきが生じ、大半の学校で給食が提供できなくなりました。市長は「この機会に大きく見直す」と表明。市の教育委員会は、学校給食問題協議会に全員給食の実施提供についての意見を求めました。



その結果、各校で作る自校式が最善ですが、全校実施には20年～35年程度かかります。全員給食早期実現を優先し、給食センター方式（4～5年程度で建設）の実施に踏み切る事となりました。

「都内の全員給食未実施自治体」残るは東村山市を含めた3市のみです。

アレルギー・教員の過重労働…様々課題はありますが、子どもや保護者、先生方からお話をじっくり伺い、東村山の子ども達に最適な方法で、温かい全員給食の実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

# 12月市議会一般質問

## 2.コロナ禍における災害対応について

「コロナの状況で災害が起きたら、避難所はどうなるの？安全？」「車いすで一次避難所に避難した後、要配慮者を優先する二次避難所へも自力で移動するの？」

コロナの感染対策は「自己責任」とばかりに、安心できる対策を取らない政府をはじめ、東村山市の対応も見えず、強い不安の声を伺います。



二次避難所への移動支援については、車両を確保するなど、協力体制を検討しているとの答弁があり、安心しました。防災大国キューバでは「防災対策の主眼は、地域と住民の生命、財産を災害から保護する事」と、国をあげての国民救援体制です。日頃からの公助がしっかり整っていれば、避難への意識や協力も強まりますよね。

災害地では、環境の整った避難所に避難者が集中する事例が起きています。市内中学校体育館の空調は設置されましたが、小学校にはありません。避難所としての「環境整備格差」についての質問には、「災害時は電気も水も無い場合がある。空調設備が有れば良いわけでない」と、設置への消極的な答弁です。水害の起こりやすい季節の避難所での熱中症対策は、避けられません。

災害時には、避難所運営等に携わる市役所の正規職員。今、コロナ災害の対応に追われる職員は疲弊しています。保健所や病院といった公的機関の平時のゆとりの無さが、災害時にパンク寸前となる事が、コロナで証明されました。市民を守る正規職員の増員が必要です。けれども市長は、「災害時を想定した人員増はしない」との答弁に終始しました。

## 市内事業者支援にも 格差がうまれています

前年と比して、5割以上売り上げが落ち込んだ事業者への国の支援策「持続化給付金」（オンライン申請が基本）。5割まで落ち込まない事業者への市の支援策「東村山企業等応援金」。（12月時点での利用は、見込みの約1割程度）

市内を回ると、「支援対象となるかわからない」「制度を知らない」「申請書類が準備できない」等、高齢事業者の方から同様の感想が複数寄せられます。後継者やご家族の協力が得られる状況であれば情報も入り、支援の申請を済まされていました。

インターネット上の情報が増え、利用できない方との情報力の格差が拡大しています。コロナ禍で皆が大変なときに、支援の格差があるようでは困ります。周知には、より積極的な働きかけが求められています。

お気軽に  
ご相談ください

## 生活保護の扶養照会 「義務ではない」厚労相が明言



生活保護申請時の扶養照会（申請者の親族に対する扶養の可能性についての問合せ）が、「家族に知られたくない」と、申請をためらわせる一因と言われています。照会で扶養につながる事例はほんのわずか。困窮の背景は様々です。「健康で文化的な生活を営む権利」「生存権」を保障する制度の利用は、国民一人ひとりの権利です。

**ためらわずに申請を！**

## 核兵器の無い世界を どう実現していく？

核兵器禁止条約が1月22日に発効。うまれたばかりの条約を世界共通の力とするためには、応援する人を増やしていくことでしょうか。核兵器の無い世界を実現させる為に、皆さんと平和な世界に向けた希望ある対話を重ねていきたいと思えます。



❖山田たか子  
ツイッター    
❖いま しんぶん赤旗 がおもしろい！  
日刊紙 月3,497円（一部売130円）  
日曜版 月930円（一部売240円）  
日刊紙 電子版（月3,497円）



東村山民報 2021年2月号外 山田たか子活動紹介です。  
◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5